令和7年度

 教科・科目
 理科・生物基礎
 単位数
 2

シラバス

学年・クラス	1 学年	(必修 ・ 選択)	担	当	者	加	藤	栞	奈
使用教科書	東京書籍	新編 生物基礎							
使用副教材	東京書籍	新課程 レッツトライノート生物基礎							

目 標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力をつぎのとおり育成することを目指す。

- (1)目的を持ち、日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、主体的に活用できる力を養う。
- (2) 観察, 実験などを行い, 問題解決に向け、情報を収集・分析し、科学的に探究する力を養う。
- (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与し、地域や社会に貢献する力を養う

授業の内容・進め方

授業内容:1編 生物の特徴 4編 生物の多様性と生態系 2編 遺伝子とそのはたらき 3編 ヒトの体の調節 進め方:「高山植物」と海外交流事業の関連から、1編学習後、4編を学ぶ。教科書を中心に進め、時々ワークを使用 する。また必要に応じて実験や小テストも実施する。

考査:授業で学習した内容を中心に、知識や思考・判断を問う問題を出題する。

評価規準(観点別達成目標・評価項目)

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理。法則などを理解しているともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	実験などを行い,得られた結果 を分析して解釈し、表現するな ど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①如数,针色	②思考・判断・表現	③主体的に学習に	
	計価の観点	①知識・技能	②忠有・刊断・衣児	取り組む態度	
≑तर	定期考査(年4回)	0	0	Δ	
目	小テスト (適宜実施)	0	Δ	0	
	実験・レポート(適宜実施)	0	0	0	
	課題提出(長期休み)	0	Δ	0	
	授業への参加(小単元課題)	Δ	0	0	

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A: 十分満足できる B: おおむね満足できる C: 努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績 (評価・評定) を決定する。

年間指導計画及び中単元別評価基準

		111111111111111111111111111111111111111	以の中単元別評価基準 評価規準						
学	月	単元	学習内容			主体的に学習に			
期			. , ,	知識・技能	思考・判断・表現	取り組む態度			
前	4	1編 生物の特徴	1節 生物の多様	生物の特徴につい	生物の共通性と多様	生物の共通性と多様			
期		1章 生物の多様	性	て,生物の共通性と多様性の基本的な概念や	性について,問題を見いだし見通しをもって	性に関する事物・現象に進んで関わり,見通			
//,		性と共通性	2節 生物の共通	原理・法則などを理解	観察、実験などを行	しをもったり振り返っ			
			性	しているとともに,科学的に探究するために	い,科学的に考察し表現しているなど,科学	たりするなど, 科学的に探究しようとしてい			
			3節 細胞の特徴	必要な観察,実験など	的に探究している。	る。			
			O AIT MANE OF THE PARTY	に関する基本操作や記 録などの基本的な技能					
	5			を身につけている。					
		2章 生物とエネ	1節 生態とAT	生物の特徴について、生物とエネルギー	生物とエネルギーに ついて, 問題を見いだ				
		ルギー	P	の基本的な概念や原	し見通しをもって観	んで関わり, 見通しを			
			2節 酵素のはた	理・法則などを理解しているとともに,科学		もったり振り返ったり するなど, 科学的に探			
			らき	的に探究するために必 要な観察,実験などに		究しようとしている。			
	6		3節 呼吸と光合	関する基本操作や記録					
			成	などの基本的な技能を 身につけている。					
				310 217 CT 30					
				前期中間考査	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
	7	4編 生物の多様	1節 身のまわり	植生と遷移の基本的な概念や原理・法則な	植生と遷移につい て,問題を見いだし見	植生と遷移に関する 事物・現象に進んで関			
		性と生態系	の植生	どを理解しているとと	通しをもって観察,実	わり、見通しをもった			
		1編 植生と遷移	2節 植生の遷移	もに、科学的に探究するために必要な観察,	験などを行い、科学的 に考察し表現している	り振り返ったりするな ど,科学的に探究しよ			
			3節 遷移とバイ	実験などに関する基本 操作や記録などの基本		うとしている。			
	8		オーム	的な技能を身につけて	ている。				
		a to Make the	for 11 tab	いる。 生態系と生物の多様	上能 至 レ 上 枷 の 夕 垟	生態系と生物の多様			
			1節 生態系にお	性, ならびに生態系の	性, ならびに生態系の	性, ならびに生態系の			
		物の多様性	ける生物の多様性	44か無くの医理 法則	バランスと保全について, 問題を見いだし見				
	9		2節 生態系にお	などを理解していると	通しをもって観察,実	関わり、見通しをもっ			
			ける生物間の関係 3節 生態系と人	ともに、科学的に探究するために必要な観	験などを行い、科学的 に考察し表現している				
			3 即 生態系と人 為的攪乱		など、科学的に探究している	ようとしている。			
			4節 生態系の保	基本的な技能を身につ	ている。				
			全郎・生態示り床	けている。					
		川別別小~1上							

学				評価規準			
子期	月	単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
後期	10	2編 遺伝子とそのはたらき1章 遺伝情報とDNA2章 遺伝情報とタンパク質の合成	子 2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配	遺伝情報概を と念解した をにたない をにたない をにたたいない をにたたいない をにたたいない をにたたいない をにたたいない をにたたいない をでする。 をない をでする。 を本めい はの合いで はいので がいる。 となる となっま操作なる。 となる をがい はいる。 となる はいので はいので がいる。 となる にない はいので はいので はいので はいので はいので はいので はいで はいる はいで はいる はいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる に	いて,問題を見いだし 見通しをもって観察, 実験などを行い,科学	遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関かり、見通したりないのたが、科で関からに探究しようとしている。 遺のは、おいるのは、は、ないのでは、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのでは、ないのでは、ないのでは、は、ないのでは、は、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、な	
	12	3編 ヒトの体の 調節 1章 ヒトの体を 調節するしくみ	2節 神経系によ	な技能を身につけている。 後期中間考査 神経系と内分泌ではよる調節ににの基本ににの基準の伝達の法則とという。 概念や原理・法ると変を理解していに探究といるといるといるといるといるといるに、科学の要な観察、	情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察, 実験などを行い, 科学的に考察し表現しているなど, 科学的に探究し		
	1		4節 血統濃度の 調節	験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。			
	2	2章 免疫のはた らき	1節 免疫のしくみ2節 免疫の応用3節 免疫とさまざまな疾患	免疫の働きの基本的 な概念や原理・法則な どを理解しているとと もに、科学的に探究す るために必要な観察, 実験などに関する基本 操作や記録などの基本 的な技能を身につけて いる。	免疫の働きについて,問題を見いだし見通しをもって観察,実験などを行い,科学的に考察し表現しているなど,科学的に探究している。	免疫の働きに関する 事物・現象に進んで関 わり、見通しをもった り振り返ったりするな ど、科学的に探究しよ うとしている。	
		後期期末考査					